

市町村名	竹富町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	ドローンを活用した物資輸送実証事業			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部署名	政策推進課			事業実施(予定)年度	令和元年～令和2年度		
事業内容	船舶欠航時などにおいて、離島住民等の命を守る医薬品や食料品等のドローン(無人航空機)による輸送手段を確保するため、 ・物資輸送に関する基礎調査、「物資輸送手段確保基本計画」(素案)の検討を行う。 ・ドローン物流実証実験に向けた実験計画を策定する。						
先導性に関する取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(民間の自走)						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		11,092				
			11,092				
			0				
			0				
			11,092				
		B. 執行済額	11,090				
		うち補助金充当額	8,872				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初の計画通り、物資輸送に関する基礎調査やドローン物流実証実験に向けた実証計画策定を行うことができ、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	令和2年度における物流実証実験に向けた「実験計画」の策定	目標	(1)	()	()	()	
		実績	1				
	令和3年度における「物資輸送手段確保基本計画(素案)」の策定	目標	(1)	()	()	()	
実績		1					
達成状況説明	<input type="checkbox"/> 令和2年度に実施予定である実証実験の実験計画を策定した。 <input type="checkbox"/> 令和3年度からドローンの配送サービスを実施するための「物資輸送手段確保基本計画」(素案)を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(R1年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	離島間におけるドローン物流事業への参入事業者数	目標		()	()	()	(1社以上)
		実績	0社				-
	成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標		()	()	()	()
実績						-	
進捗状況説明	離島間物流事業を担う民間事業者が参入することで離島への物資輸送手段が確保されることから、基本計画策定後1年目(R3年度)の成果目標として参入事業者数を設定した。 目標値達成にむけ、R3年度に事業全体を統括するドローン民間事業者の誘致を行い、さらに西表島内の売店等の事業者の参画を募る。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○R3年度のドローン事業を民営化した場合、参入してもらった事業者においては、島嶼地域という側面を考慮すると、単独での体制は難しい。</p> <p>○継続して事業を推進するためには、島内でドローンオペレーター、ドローンのメンテナンス等に必要な人材が不足している。</p>	<p>○ドローンの物流においては、民間事業者の専門的な知識や技術を要することから、ドローン、物流、アプリ開発等に長けているそれぞれの事業者と共同体で体制を構築する必要がある。</p> <p>○事業者におけるドローンオペレーター、ドローンのメンテナンス等に係る人材の育成が必要である。</p>

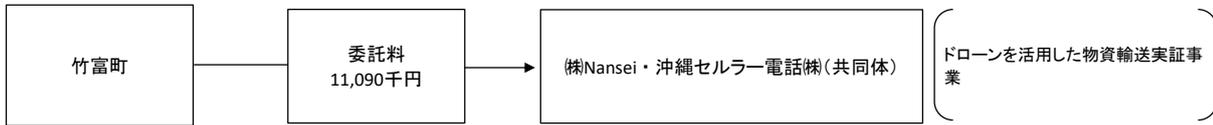
今後の取り組み方針

○八重山地区にある「中小企業家同友会」を通して参画の可能性調査を行うなど、参入事業者として可能性のある民間企業等に対しヒアリング等を行い、一つの共同体の構築に向けて取り組む。

○国家戦略特区制度を活用のうえ竹富町を「ドローン特区」として位置づけし、ドローンに対するオペレーターの育成及びメンテナンスに必要な専門的な知識を町内で受講できる体制の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
11,090	11,090	8,872	2,218	0



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザルで選定しており、妥当であったと考える。
△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	県内に本事業に対応できる企業が乏しく、また継続事業としている為、1社見積としている。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、精算時において確認を行い適正であった。

資金の流れ、費目・使途の評価